

令和2年7月20日

中学生の皆さんへ

東京都立三田高等学校
校長 三保 和彦

今、社会が大きく変化しています。新型コロナウイルスと共存していくために新しい生活様式、新しい学習様式、新しい学校行事様式、新しい部活動様式など、みんなで考え、実行していかなければなりません。以前に戻ることはなく、変化したものが残り、進化していきます。

皆さんに必要な力は、**新しいもの・新しい価値を生み出していく力**です。日常生活や社会に目を向けるといろいろな課題があります。その課題と向き合いながら、**自分はどう生きていくのか**、しっかり考えてみて見てください。

- ・テレワークが多くなりました。自分が働くときにはどうなっているのでしょうか。
- ・感染症拡大防止と経済活動の両立をどう図っていけばよいのでしょうか。
- ・少子化の中でロボットをどう活用していけばよいのでしょうか。
- ・プラスチックゴミをどう減らしていけばよいのでしょうか。
- ・地方をより活性化していくにはどうしたらよいのでしょうか。
- ・人間らしく生きるためにAIをどのように活用していけばよいのでしょうか。
- ・ダイバーシティと言われますが、どのように意識を変えていけばよいのでしょうか。

中学生にはまだよくわからないから誰かが解決してくれるだろうと考えている人が多いのではないのでしょうか。でも、それは違います。みんなが問題を解決していく当事者なのです。1～2年間で解決するようなものはなく、何年間もかけて、変化しながら解決する努力を続けなければならないのです。

予想がつかない大変な時代を支えていくのはみんななのです。社会の変化を捉えて、感じて、「**なりたい・やりたい**」ことを持ちましょう。「なりたい・やりたい」ことをもって生きていくことが、課題を発見し、解決しなくてはいけないという強い気持ちにつながっていきます。「なりたい・やりたい」ことを持つことによって、何で勉強しているのかも見えてきます。偏差値が高く、良いと言われている学校に進学するためではありません。自分のためなのです。社会を形成し、みんなと一緒に生きるために勉強しているのです。

今この時期に本気で、偏差値重視の進学の内取り方を変えないと日本という国がいろんな面で落ちていくのではないかと考えています。大学は今、入学してほしい生徒像・育成する人材を明確にし、変わりつつあります。「なりたい・やりたい」ことに基づいて、進学していくことが重要になっています。

高校進学も同じです。何を重視し、どんな活動が盛んなのか、どのように進学させるのかは学校によって違います。「なりたい・やりたい」ことに基づいて、しっかり考えてほしいです。

本校なら、「①国際理解教育の推進 ②英語4技能の伸長 ③探究学習の充実」の3つを柱に、「1. 大学名ではなく探究したいことに合う進学 2. 英語を tool として活かした幅広い進学 3. 探究学習の成果を活かした進学」を目指しています。この方針で学びたいという中学生に入学してほしいです。1～3の進学を考えつつ、**高い志を持った学生が多くいる大学へ進学してほしい**と思っています。

中学生一人一人にいろいろな夢や希望、適性があります。夢を追いつつ、自分の適性を活かして、しっかり進学してください。偏差値だけではなく、自分の適性等が活かせる高校へ是非、進学してください。そこで生き甲斐や存在感をもって生きていくことが、日本国民全体で生きているということなのですから。誰一人として、意味のない存在なんてありえません。生きていること、それだけで意味があり、素晴らしいことなのです。人生は創っていけばよいのです。

Life isn' t about finding yourself. Life is about creating yourself.